

◎ガスロンN・OD錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 イルスグラジンマレイン酸塩 irsogladine maleate 【分類】 粘膜防御性胃潰瘍治療剤

【単位】 ◎2mg・▼4mg/OD錠

【常用量】 4mg/日

【用法】 分1～2

【透析患者への投与方法】 減量する必要はないと思われるが透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量する必要はないと思われるが腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【特徴】 半減期が極めて長いため1日1回投与可能で自由な時間に服用できる。胃粘膜の上皮細胞間の接合を強化することにより、粘膜細胞を安定化し防御作用を示す。胃炎に対する効果も承認されている。

【主な副作用・毒性】 便秘、下痢、嘔気・嘔吐

【tmax】 3.5hr (1) 3.3～8hr (Arzneimittelforschung 34: 492-498,1984)

【代謝】 尿中の代謝物より、主代謝物はイルソグラジンの m-OH 体の抱合体で、その他 p-OH 体の抱合体及び N-oxide 体 (1) 代謝物に活性はない (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1.77% [80hr まで] (1) 尿中回収物には m-OH 体の抱合体、p-OH 体の抱合体、N-oxide 体が微量 (1) 腸肝循環する可能性あり (5) 【CL】 3mL/min (1)

【t1/2】 152hr (1) 170hr (Arzneimittelforschung 34: 492-8, 1984)

【蛋白結合率】 62.4% (1)

【Vd/F】 14L/man (1)

【MW】 372.16

【透析性】 低い (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない 【O/W 係数】 54.0 [1-オクタノール/水系, pH6.8] (1) 【pKa】 2.3 (1)

【更新日】 20200120

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。